

【件名】	歩道設置工事(3三一主25馬場下町)	【事務所名】	第三建設事務所		
【工事場所】	東京都新宿区西早稲田一丁目地内から同区馬場下町地内まで	【受注者名】	協立舗道株式会社 東京支店		
【工期】	令和3年10月18日から令和5年2月7日まで	【主たる技術者名】	現場代理人 清水 新 監理技術者 坂井 秀東		

【工事概要】

施工延長：213.0m

プレキャスト街渠工 352.2m、街きょ用集水柵工 19基、車道舗装工 3,610㎡、歩道舗装工(ILB) 1,207㎡、視覚障害者用誘導ブロック設置工 110㎡、防護柵設置工 297m

【表彰理由】（※発注者側評価）

現場は歩道が狭く、学校や駅出入口に近接し、商店街で人通りも多い。施工中、店舗軒先へ三角旗を設置して接触事故を防止するとともに、仮バス停設置中は「乗客有・無」のプラカードを持った人員を配置し、バス運転手へ案内するなど交通の円滑化を図ることで安全対策を徹底した。また、現場清掃はもとより、降雪時の速やかな除雪、地域の各種行事を円滑に行えるよう工事調整や現場整理を実施し、地元や警察などから感謝された。工事関係書類の整理や、現場の出来栄も良好であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

当現場は穴八幡宮と早稲田大学に近接し、飲食店等商業施設の多い現場環境であり、昼夜を通して歩行者（参拝者・学生・観光客）が非常に多い状況であったため、第三者の安全対策を非常に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

集水柵及び取付管を設置するにあたり、他企業の埋設物が浅い箇所があり通常の施工が困難であったため、施工方法を入念に検討しその施工に細心の注意を払って施工しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

発注者と受注者が一丸となって工事終了された事。また、工事を進めていく中で、地域住民の方から沢山の感謝の言葉を頂けた事は非常に嬉しかったです。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は目的をひとつとする仲間が集まりです。苦労することも多くありますが、その分みんなで作り上げた現場は何よりの宝物になると思います。



街渠施工時の歩行者誘導状況